

背景

多々良沼・城沼では、ハスが沼辺繁茂していることから、協議会委員や地域住民の方からハスの適正な管理についてご意見が寄せられています。特に、多々良沼・城沼で繁茂しているハスは、次のものです。

ハス

ハスは**特定外来生物**ではありませんが春から水中の窒素やリン成分を吸収して大きく成長し、秋口からハスが枯れて腐って沼底に堆積してヘドロ化してしまい結果、ハスが取り込んだ窒素やリン成分が水中に戻ってしまいます。

ハスは地下茎の成長で水深の浅い沼辺から徐々に沼の中心に向かって面的に生育エリアを広げて行くので、ハスを放っておくと水面を覆ってしまいます。

自然環境への影響

多々良沼

ヨシやマコモなどの多々良沼の在来植物の生育エリアがハスの侵食により影響を受けることが懸される。枯れたハスは沼底に堆積し、水質や取水への影響が懸念される。

城沼

毎年ハスが城沼の流路まで繁茂し、治水（良好な河川の流れを確保する）への影響が懸念される。枯れたハスは沼底に堆積し、水質への影響が懸念される。

目的

多々良沼・城沼における自然再生は、生物の多様性の確保、外来生物への対応、水質の浄化などがあり、それぞれの目標に向け、いろいろな事業の提案を受け、その提案に即した取組みをしていく必要があります。今回の協議会事業としてのハスの調査は、ハスの生育が生物の多様性弱めたり、水質浄化を遅くしたりする事実を少しでも防ぎ、多々良沼・城沼の今の自然環境を保つため、ハスの実態を把握し自然再生に役立つ資料としてハスの種類や種類ごとのまとめなどを沼毎に整理していくことが目的です。

ハスの現地での生育状況

多々良沼 逆川（大樋）より上流



城沼 つつじ橋より上流



平成28年度 調査概要

1. 調査期間

ハスの葉が水面から出てくる夏期で、花が付いている時期に調査。

2. 調査方法

多々良沼・城沼で群生するハスを採取し写真と採取位置を記録。

3. 補足

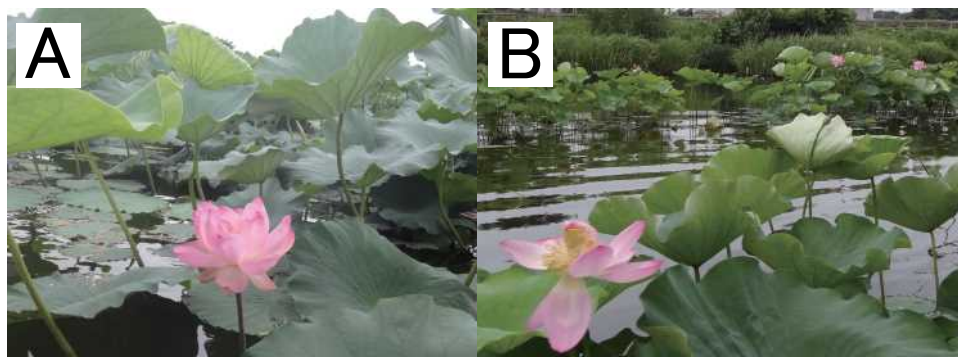
(多々良沼)

- ・多々良沼のハスの花色はピンクと白がある。
- ・葉に対する花の位置はピンクは葉が茂っている中に花が咲き、白は葉上で花が咲く。(写真C、D)

(城沼)

- ・ハスの花色はピンクや白など多様な花形のハスが見られる。
- ・城沼の図の①エリアは、葉に対する花の位置は葉が茂っている中に花が咲く。(写真A)
- ・城沼の図の②エリアは、葉に対する花の位置は葉上で花が咲くのが多い。(写真B)

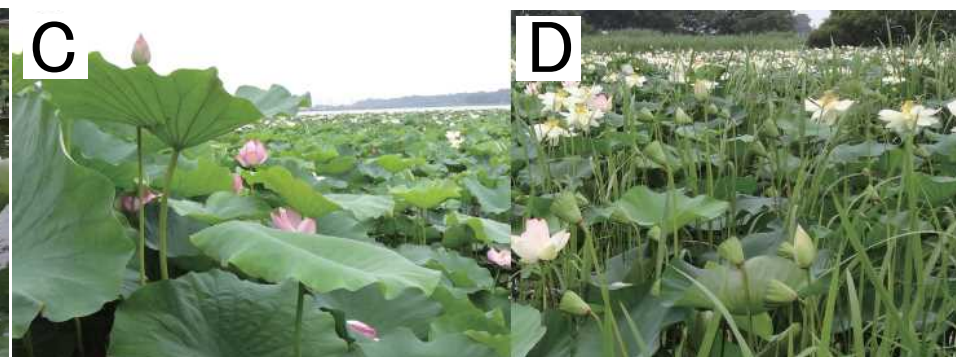
城沼 (A,B)



写真A：花色はピンクで葉の中で花が咲く。

写真B：花色はピンクで葉の上で花が咲く。

多々良沼(C,D)



写真C：花色はピンクで葉の上で花が咲く。

写真D：花色は白で葉の上で花が咲く。

多々良沼・城沼のハスへの取組

ハスの生育状況概要図

城沼



多々良沼



凡例

□ . . . ハス繁茂範囲

■ . . . ハス採取地点

これまでの調査結果

- ・ 多々良沼のハスは観賞用の可能性が高い。
- ・ 城沼の西側群落のハスは、
遺伝的に大賀ハスや行田ハスに近い貴重なハスだった。
- ・ 城沼のハスは外から持ち込まれたのではなく、
城沼に自生していたハスが生き続けていた。

平成29年度の調査予定

城沼

- ・ 未調査エリアを調査し、沼に生育するハス全体の実態を知る。

